

科 目 名	プレゼミナールⅣ	備 考
単 位 数	2単位	

大 久 保 博 樹

パソコンでラジオ番組を制作 - 「音」を使った情報発信を Podcast 形式で学ぶ

1. 講義目標

Internet 版ラジオともいえる Podcast をパソコン(Mac)を活用して制作する行程を通じて、音による表現とその最適化について学ぶことを目標とする。広く人々に受け入れられる音声コンテンツとは何か、並びに新しい情報発信メディアやコミュニケーション・ツールとしての可能性や課題について、実践的に考察する。

2. 到達目標

音による情報発信に求められる方法と表現ならびに伝達について、聞き手に届く話し方、効果音や音楽の有用性を説明することができることを目標とする。ディプロマ・ポリシーの(メディア情報)「1. 情報の生産・流通・蓄積・再利用を実践する能力を身に付けること」に関連し、ディプロマ・ポリシー (全学部) の「2. 学部教育全体を通じて、十分に駿大社会人基礎力を身につけること」にも関連し、駿大社会人基礎力の考える力や総合的な力を養うものである。

3. 関連科目

音楽情報処理演習、音響メディア論、音響制作実習

4. テキスト・参考書等

必要に応じて、レジュメや資料を配付する。

- 【参】 竹内敏晴 『声が生まれる一聞く力・話す力』 中央公論新社
- 【参】 種田守倅 『聴かせてやんない!—ウェブラジオ FMC インサイドストーリー』
くまざさ出版社
- 【参】 J・D. ヘリントン 『Podcasting Hacks—構成、録音、発信の必須テクニック』
オライリージャパン
- 【参】 岡田芳郎 『メディアの河を渡るあなたへ 小谷正一物語』 ボイジャー
- 【参】 大津真, 田廻弘志 『はじめよう! Logic Pro X すぐに使えるポイント 111』 ラトルズ

5. 授業外における学習方法

Podcast やラジオ番組の視聴機会を毎週ごとにもうけ、授業で指摘した事項を確認する(2.0時間)。指定したテキストや資料の該当箇所を事前に読んで要点をまとめ、分からない用語等も調べておく(1.5時間)。読みきかせや語りかけのトレーニングをグループで行うこと(1.0時間)。

6. 成績評価方法

グループ制作活動への貢献度(30%)、制作した成果物の内容と完成度(50%)、ゼミへの取り組み(20%)によって総合的に評価する。(ゼミへの取り組みでは、主に視聴課題を課します。その内容に対するリアクションペーパー等を配付し、授業内で課題の意図や模範例を説明します。)

授 業 計 画			
第1回	ガイダンス	第9回	制作演習(1) 読み聞かせ
第2回	ラジオ番組の世界	第10回	制作演習(2) 収録
第3回	Podcast 形式とは何か(構成分析)	第11回	制作演習(3) 編集
第4回	音による情報発信に向けたテーマとは	第12回	制作演習(4) 再収録と修正
第5回	音声コンテンツの制作環境と理解	第13回	制作演習(5) 仕上げと共有
第6回	企画の立て方について	第14回	発表と講評
第7回	番組の構成台本の作成方法	第15回	まとめ
第8回	伝わる話し方を学ぶ		